

レセプトチェッカーFUGA Ver. 1.2.0 S45 (build006) リリースノート

この文書は、レセプトチェッカーFUGA安定版Ver. 1.2.0 S45導入時の注意事項などについて記載しています。

レセプトチェッカーFUGAをご利用の際は必ず目を通していただくようお願いいたします。

また、これらの内容はユーザーのフィードバックを受けて更新されることがありますので、随時最新情報をご確認ください（最新情報は <http://receipt-checker.jp/downloadpage/> でご確認ください）。

1. 導入についての注意事項

1-1. アップデート適用環境について

レセプトチェッカーFUGA 安定版S45インストーラを利用される場合は、インストーラをダウンロードするためのインターネット環境が必要です。

1-2. インストール方法

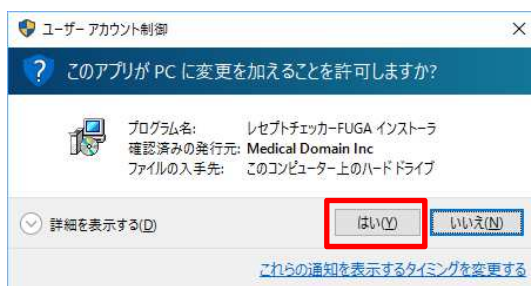
【手動更新】

(1) 下記サイトより、S45 インストーラ Setup.exe をダウンロードします。

レセプトチェッカーFUGA 安定版のダウンロードサイト

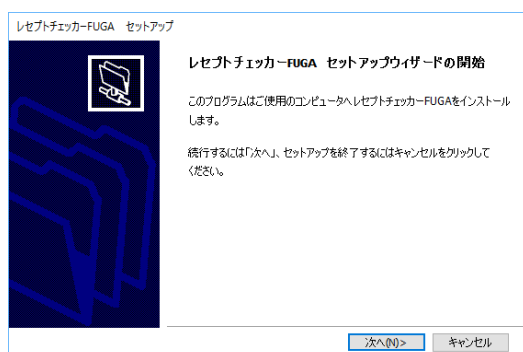
<http://receipt-checker.jp/downloadpage/>

(2) ダウンロードした Setup.exe をダブルクリックで起動します。

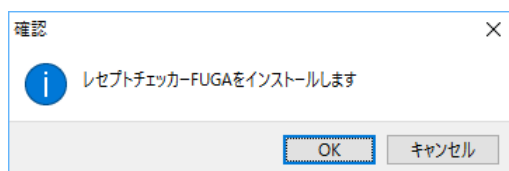


上図の「ユーザーアカウント制御」画面が出たら、「はい(Y)」をクリックして進めます。

「いいえ(N)」をクリックすると終了します。

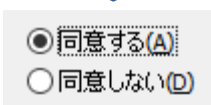
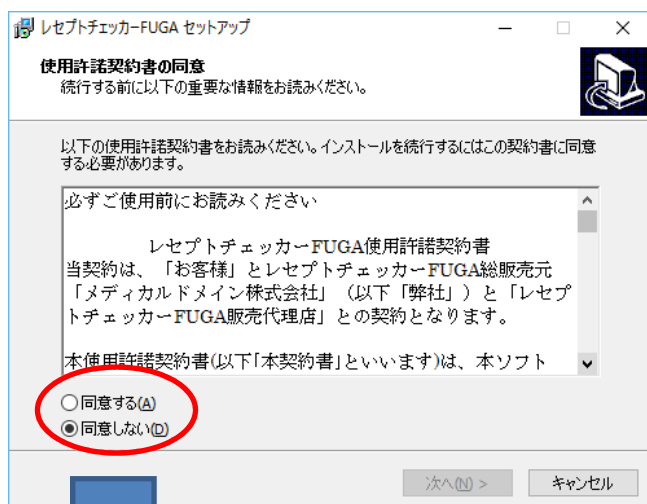


「レセプトチェッカーFUGA セットアップウィザードの開始」画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。

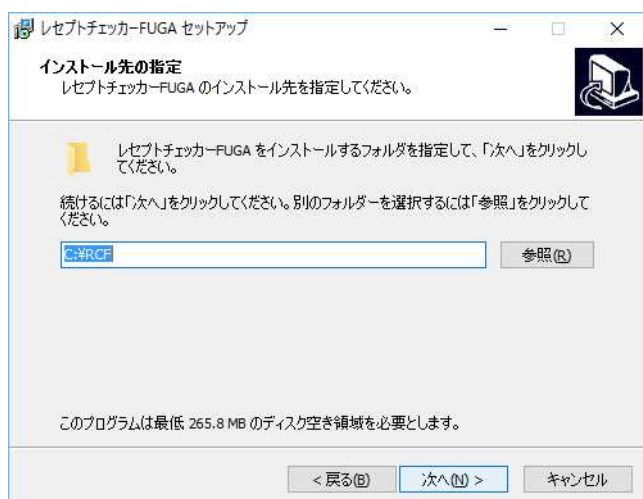


左図の確認メッセージが表示されますので、「OK」を選択します。

使用許諾契約書の同意についての確認画面が表示されます。スクロールすることで、最後までお読みいただけます。



「同意する」にチェックして「次へ」をクリックします。

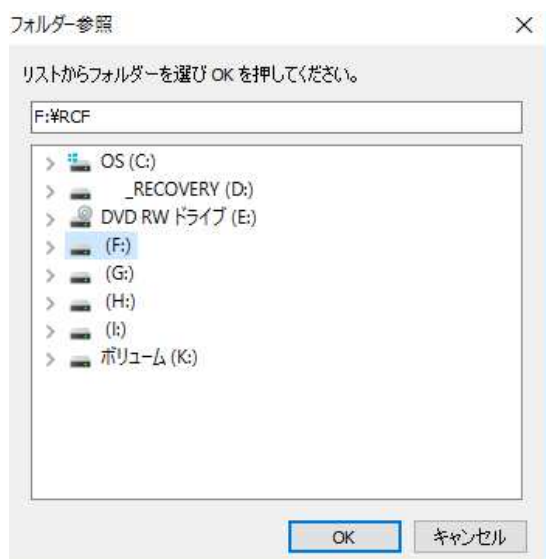


通常、Cドライブ(ローカルディスク(C))が指定されています。

確認後、「次へ」をクリックします。

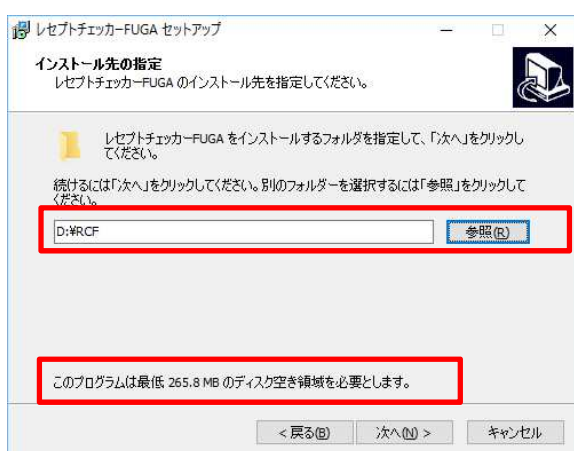
Cドライブ以外に既にインストールされている場合は、「参照」をクリックして変更します。

(次頁)



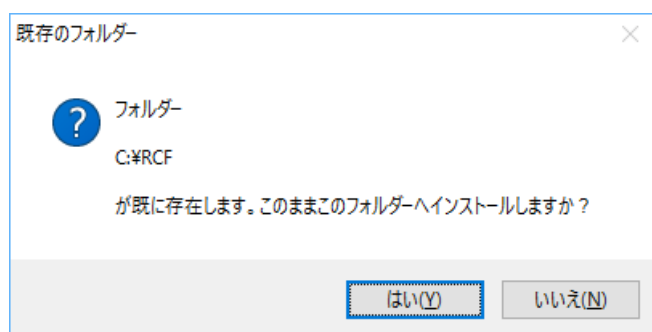
既にインストールされた先が、Cドライブでない場合は、「参照」をクリックします。

左図の画面が表示されるので、インストール先のフォルダを指定して「OK」をクリックします。



変更したインストール先と必要なディスク空き容量が表示されます。

「次へ」をクリックします



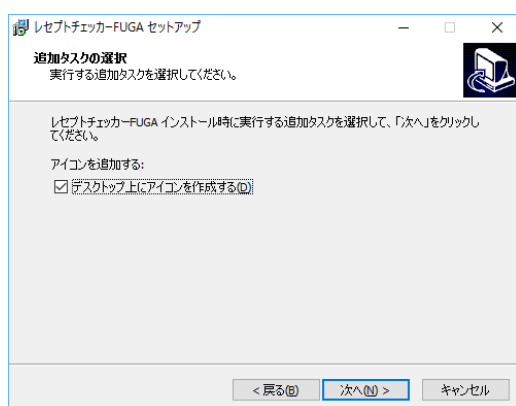
既にインストールされているので、確認のメッセージが表示されます。

「はい」をクリックします。

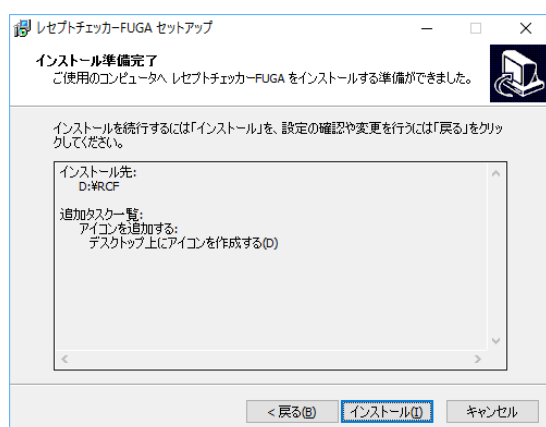
「はい」を選択しても既に登録された学習データや過去データは削除されません。

※上記メッセージが出ない場合は、既存インストール先に誤りがあるので、新規にインストールしたのと同じになるのでご注意ください。

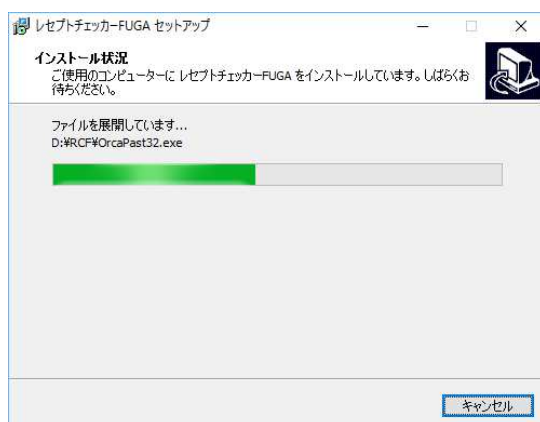
ただし、自動的にバックアップされていますので、「設定」→「データ保守（バックアップと復元）」で復元することは可能です。



「アイコンを追加する」の下の「デスクトップ上にアイコンを作成する」にチェックを入れて、「次へ(N)」をクリックします。



「インストール準備完了」画面が表示されるので「インストール(I)」をクリックするとインストールを開始します。



「インストール状況」が表示されます。



「レセプトチェッカー-FUGA セットアップウィザードの完了」画面が表示されます。「完了」をクリックして終了です。

(3) システムバージョンは Ver. 1.2.0(build:006)に変更されています。

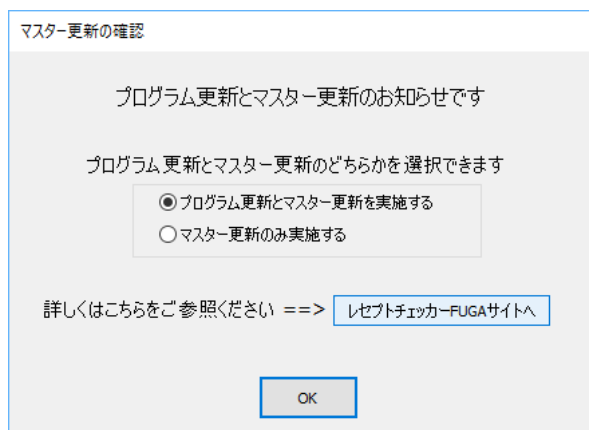


(4) システムバージョン以外のバージョン情報は、「システム Ver. 1.2.0(build:006)」と表示されたボタンをクリックすると得ることができます。



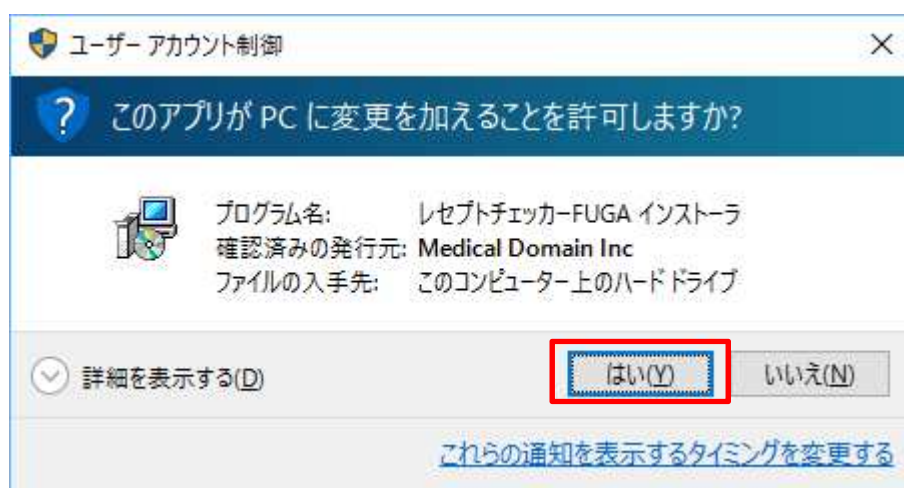
【自動更新】

「システムVer. 1. 2. 0(build:005)」の場合は、プログラム更新とマスター更新（診療行為や医薬品追加）の両方の更新がある場合は以下のように表示されますので、選択することができます。



「システム Ver. 1. 2. 0(bui ld:005)」以外の場合は起動時に自動的にマスター更新のためのインストール用プログラム(Setup. exe)をダウンロードし、自動でインストール開始します。

以下の画面が表示されますが、「はい」をクリックして進めます。



上記画面が出ずに、最右下のタスクバーに隠れている場合があります。



その場合は、 をクリックして表示させます。

以降は、【手動更新】の(2)からと同じ展開となります。

2. 変更された主な内容

(1) 前回のマスター更新時に病名マスターに特定疾患区分の不備があったため修正しました。

詳しくは、下記サイト「マスター更新内容」をご参照ください。

<http://receipt-checker.jp/mn-s45/>

3. 不具合対応

- (1) 前回のマスター更新(S44)時に病名マスターに特定疾患区分の不備があったため修正しました。
- (2) タスクバーが最下以外（左右や最上）にある場合、レセプトチェックの「詳細」画面の明細が表示されない現象を改善しました。
- (3) 「グループリスト」画面で合格にもかかわらず、チェックリストを印刷すると、「疑い病名の場合確認する」にチェックの有無に関わらず、診療行為（検査）が表示される現象を改善しました。